

SCSK、「健康経営銘柄」に8年連続で選定

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者:谷原 徹、以下 SCSK)は、社員の健康管理を経営的な視点から考え、戦略的に取り組んでいる企業として経済産業省と東京証券取引所から「健康経営銘柄」に8年連続で選定されましたのでお知らせします。

なお、第1回目から8年連続で選定された企業は、回答企業2,869社のうち3社のみです。

1. 「健康経営銘柄」について

経済産業省が東京証券取引所と共同で、東京証券取引所の全上場会社の中から「健康経営」に優れた企業を選定し、第8回目となる2022年の健康経営銘柄には、32業種50社が選定されました。SCSKは、情報・通信業での選定となります。

「健康経営銘柄」の選定にあたっては、①経営理念・方針、②組織体制、③制度・施策実行、④評価・改善、⑤法令遵守・リスクマネジメントという観点に加え、財務面でのパフォーマンスも評価されています。



2. SCSKの取り組みと評価ポイント

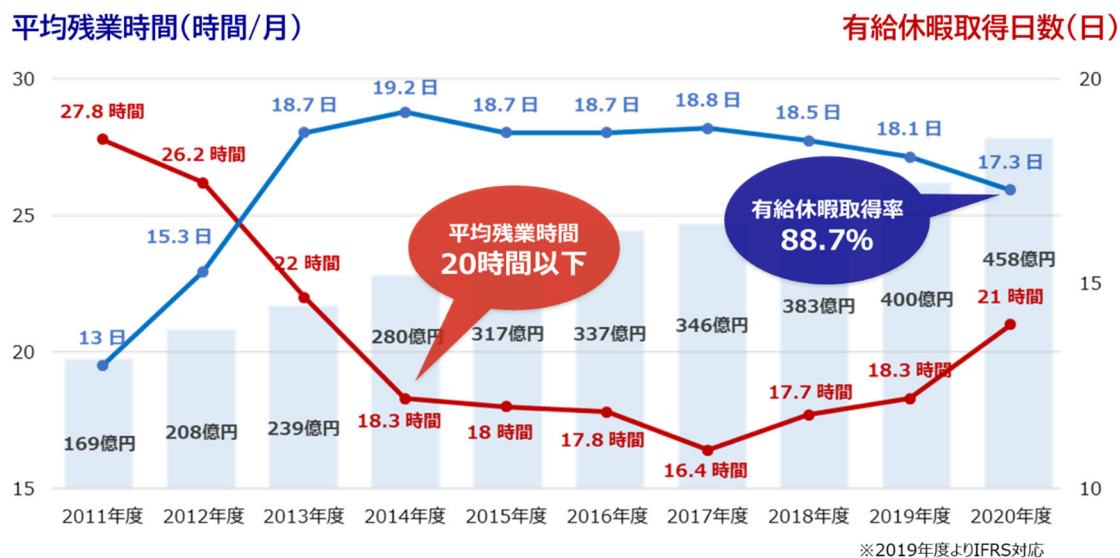
SCSKは「夢ある未来を、共に創る」を経営理念とし、これを実現する約束の一つ目に「人を大切にします。」を掲げ、さまざまな取り組みを進めています。そして取り組みの大前提が「社員の健康」であり、健康こそが全ての礎である旨を「健康経営の理念」として就業規則にもうたっています。

主な取り組みとしては「働き方改革」による残業削減・有給休暇取得の推進に加え、2015年からは役職員の99%が参加する、長期を見据えた総合的健康増進施策「健康わくわくマイレージ」を開始し、継続しています。その他、卒煙を希望する人へのサポートを行う「卒煙チャレンジ」や、新しい働き方における健康課題を見据えた健康リテラシー向上施策を全てオンラインセミナー形式で実施し、健康関連施策を拡充しています。

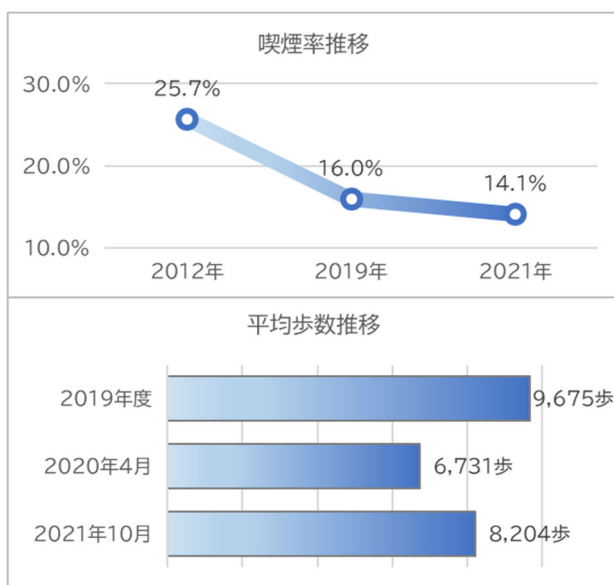
経営トップからのメッセージ発信や、健康わくわくマイレージの継続的な取り組みなど、組織的に健康経営に取り組む風土の定着が評価され、8年連続の選定となりました。

【主な成果】

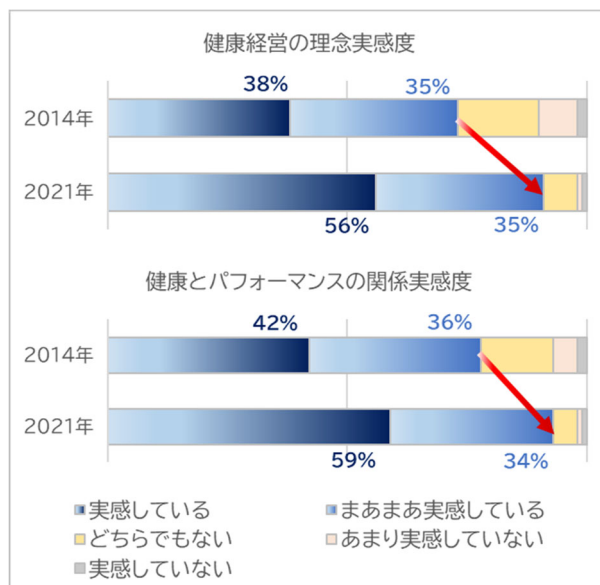
■営業利益と残業時間・有給休暇取得日数の推移



■喫煙率・平均歩数・社員の意識変化



※コロナ禍の影響で平均歩数が一時減少したものの、組織的な取り組みで改善傾向



※社内実施のアンケート結果より。社員の実感度が高まっている

SCSKは、働き方改革をはじめ健康経営の理念に基づく各種の取り組みにより、健康的な行動習慣の定着と意識の変革を役職員自らが実感しています。これらの変化が一番の成果であると言えます。

今後も、健康管理と健康増進を両輪とした健康経営を推進し、情報・通信業界をはじめ、日本の産業界全体へこれらの取り組みを広めていくことで、働く人々の健康寿命の延伸を図り、日本の明るい未来づくりに貢献していきたいと考えています。

関連情報

経済産業省ニュースリリース:

<https://www.meti.go.jp/press/2021/03/20220309001/20220309001.html>

東京証券取引所ニュースリリース:

<https://www.jpx.co.jp/news/1120/20220309-01.html>

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

企画本部 広報部 高野

TEL:03-5166-1740

※ 健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。